



田村 計久

湯沢中学校の建設と 町立小学校の統合について

質問

湯沢中学校はいつ建設するのか

平成9年度に危険校舎として認定されて既に11年、建て替えが急がれるが、建設時期と、建設費用はどのくらいか。

教育長答弁

中学校建て替えは遅くとも平成25年3月末までに建設したい。

建設費用は22億〜25億円で現在約4億円の基金がある。

建設検討委員会からの提案を基に内容を決定したい。

質問

湯沢町立小学校の統合について

湯沢町議会でも特別委員会を設置しこの問題を含め検討に入った。昨年6月の答弁後どのような議論が教育委員会でされたか。

教育長答弁

現段階では早急に結論の出る問題でないが集団活動のできる学習環境の整備は必要である。

小規模校の段階的な統合が最初の検討になるであろう。

質問

建設検討委員会の答申にあるように、小学校の統合は小中一貫教育の問題と合せ、今後の湯沢の子供達の教育を考え、町の財政問題と合せ統廃合について、町の方向を示すべきではないか。

教育長答弁

中学校建設と小学校の統廃合は切り離して考えたい。

しかし検討委員会の答申にあるように将来はするべきとある。

小規模校については現状説明会をしていく。

質問

保育所の今後について

少子化で各保育所の定員

割れが進んでいる。幼稚園化の問題と合せ、一部を統合するべきだが町長の考えは。

町長答弁

少子化が進むなか効率的な運営のために統合は避けられない。保育園に幼稚園機能を持たせた保育事業を今後も進めていくが統合については検討委員会や地域の意見を調査する。教育委員会の答申と合せ結論を出したい。

質問

湯沢高校の跡地について

町の文教地区として、保育園、小学校、中学校を集めるために購入すべきとの意見があるが、小学校、保育園は先の方針が出ていない。必要のない土地の購入はやめるべきで、近々県に土地購入の返事をするにはどのような判断基準でするか。

町長答弁

小学校の統合、小中学校の統合の基本方針を決定し整備計画のなかで必要な部分だけが購入できれば理想である。

教育委員会の決定を待つと県と交渉するが今、町の財政では跡地を買って、校舎を解体し新校舎を建てる余力はないと思う。



中学校舎建て替えはいつ方針を決定するのか